

## 令和3年度 在宅医療リハビリテーション推進研修会のご案内

令和3年11月吉日

主催 公益社団法人 愛知県理学療法士会  
一般社団法人 愛知県作業療法士会  
一般社団法人 愛知県言語聴覚士会

拝啓

COVID-19の蔓延により、患者の後遺症残存や廃用症候群などにより継続的なリハビリテーションの必要性が増し入院医療だけでなく、在宅医療にも大きな影響を及ぼすようになってきました。急性期から回復期、生活期へとCOVID-19の治療、対応について連携を図ることは重要であると理解し、実際の連携の状況や愛知県としての課題を共有する機会を設けたいと考えております。つきまして、在宅医療におけるリハビリテーション人材育成事業の一環として下記の通り研修会を開催します。

敬具

### 記

テーマ：COVID-19に対するリハビリテーション

～急性期、回復期、生活期の連携はどうあるべきか～

日 程：2021年12月12日（日）9:00～12:00（受付開始 8:30）

会 場：Web研修（Zoomを使用）

対 象：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、医療・介護分野で勤務する方

定 員：100名（先着順）

申し込み：[公益社団法人愛知県理学療法士会ホームページ](http://www.aichi-pt.jp/) (<http://www.aichi-pt.jp/>)

のトップページ左下、「行事・研修 お申し込みフォーム」からお申し込みください。

締め切り：令和3年11月30日

内 容：

愛知県におけるCOVID-19に対するリハビリテーションの現状と課題

飯田有輝先生（豊橋創造大学）

病態の理解とその対応 -病期別にやるべきこと-

岩田健太郎先生（神戸市立医療センター中央市民病院）

その他、急性期、回復期、生活期の現状と課題をお話いただき、

最後にシンポジウムで参加者の皆様も含め、病期間の連携はどうあるべきか議論致します。

問合せ先：公益社団法人愛知県理学療法士会 事務局

e-mail：[info@aichi-pt.jp](mailto:info@aichi-pt.jp) TEL&FAX：052-972-6295

以上